

平成24年度第3回富田林市入札等監視委員会（会議の概要）

1. 開催日時 平成24年11月20日（火）午前9時30分～

2. 開催場所 富田林市役所 2階 201会議室

3. 議 題

(1) 入札及び契約手続きの運用状況等について（平成24年7月～9月）

① 工事の発注状況について（報告）

(2) 発注工事（抽出事案）に対する説明及び審議（平成24年7月～9月の3ヶ月分）

① 「富田林市立富田林小学校トイレ改修工事」

② 「若松第10住宅耐震・大規模改修工事」

③ 「H24彼方・錦織配水池緊急時用連絡管敷設工事」

④ 「(24) 西板持-1工区下水道工事」

⑤ 「金剛42号線他舗装工事」

【質問・意見等】

委 員：①について、条件付で参加者が1社もいなかった。指名競争入札で1社しか参加者がいなく入札が成立しなかった。予定価格が低すぎるという事か。

事務局：事前に辞退届を提出した20社の辞退理由は、「積算が合わない」12社、「技術者不足」5社、「作業員不足」「工期が間に合わない」「自己都合」各1社となっている。

委 員：入札価格のところで多くが無理だと判断している。他の入札と比べると一方では多くが最低制限価格で落札されている。積算は国の基準に基づいて行っているそうだが、市独自で調整ができないものか。この工事でもしどの業者も無理な場合はどうなるのか。

事務局：設計内容の見直し、発注時期の変更が考えられる。

委 員：授業中に工事が出来ないなどの制限があったのか。

担当課：はい。

委 員：同様の案件で喜志小学校トイレ改修工事の落札率が高いが、これも入札参加者が少なかったのか。

事務局：この案件も富田林小学校トイレ改修工事と同じ日に電子入札を行ったが参加者がおらず、同日の指名競争入札とした。この案件も辞退者が20社で「積算が合わない」12社、「技術者不足」5社、「作業員不足」「工期が間に合わない」「自己都合」各1社、当日参加が2社。

委員：工事の質の問題だが、他の業者が嫌がる工事を2件受注した当該業者は大丈夫なのか。

担当課：無理はしていると思うが工期には完成できると思われる。

委員：②の大規模改修工事について、予定価格で応札している業者がある。この業者は落札する気があるとは思えないが、どの様に考えているのか。

担当課：参加したくない案件であったのかもしれないが、市の入札案件であるためと
りあえず参加だけしておこうと考えたものと推測する。

委員：一方で③と④は最低制限価格で抽選となっている。この種の工事は国の積算
でいくと比較的入札しやすい金額という事か。

担当課：国の積算基準に基づいて設計しており、そのようなことがあるのかもしれない。

委員：⑤も同じと思うが、これ以上工夫の仕様がなにか。

担当課：そういうことになる。

委員：最低制限価格で全社が入札する工事がある一方、ほとんどの業者が辞退をした
いという工事もある。工事の性質によるのもかもしれないが、その傾向を
分析し、国の基準があるのかもしれないが税金であることを踏まえ、例えば
国の積算の1割引きで出してみるとかしてみれば、このタイプの工事
で年間かなりの金額が削減できる。一方で他社さんが逃げてしまうような
タイプの工事には上乘せをして発注するなど、市の工事の原資としては
変えない中で再配分が可能ではないかと考える。

委員：緊急突発を含めて随意契約で、落札率が100%から60数パーセントまで
かなりの開きがあるがどういう理由か。

事務局：緊急突発はまず緊急に工事を行い、それに合わせて設計を作成するため10
0%に近い数字での契約となる。随意契約はまず設計書を作成し、それ
に基づいて見積もり合わせを行うので、落札率が下がってくる。

委員：随意契約では落札率が低い。予定価格が高いのではないか。
今回は緊急突発が多いが、何かあったのか。

事務局：6月と7月に大雨の災害があったためと思われる。

4. その他

(1) 富田林市談合情報対応マニュアルの改正について（報告）

事務局：《富田林市談合情報対応マニュアルの改正について報告》

委員：「最低制限価格制度を採用する入札にあっては最低制限価格と同額の場合は調

査を行わないことがある」とあるが、全社が最低制限価格で入札し抽選で落札者が決定されているような場合を想定しているのか。

事務局：最低制限価格で抽選が行われていれば談合はないと考えられるので、そういうことを想定している。

委員：最低制限価格での入札でも抽選がなく、そういう情報があれば調査するという事か。

事務局：はい。事情聴取を行う場合があるという事になる。

(2) 委員の任期終了の件について

(3) 次回の開催日時について

(4) 議事録の署名委員と抽出委員の指名について

4. 出席者

委員 3名、工事関係課 16名、事務局 4名